NEWS RELEASE

株式会社 明豊エンタープライズ

2026 年 11 月 16 日

明豊エンタープライズグループの年間優秀社員を表彰する「明豊 AWARD 2026」を開催

マルチタレントの須藤元気さん、グラビアモデル・俳優の斎藤恭代さん、K-1 王者の大久保琉唯さんがプレゼンターとして登壇

「辞めないということが成功への近道」と受賞者に熱いエール



創業 58 年、物造りにこだわった信頼と実績の東証上場デベロッパーとして、東京 23 区を中心に 270 棟を超える“新築一棟投資用賃貸住宅”を供給している株式会社明豊エンタープライズ（本社 東京都目黒区：代表取締役 矢吹 満）を親会社とし、全 6 社で構成する明豊エンタープライズグループは、この度、2026 年 11 月 13 日ウェスティンホテル東京にて、グループ社員の功績を称える『明豊 AWARD 2026』を開催しました。

株式会社明豊エンタープライズは 1968 年より創業し、時代と共に半世紀歩んだ歴史ある会社です。当社は近年日本のみならず台湾、シンガポール、香港など販路を海外まで拡大し、2024 年 12 月には台湾に現地法人を設立。2026 年 3 月には新築一棟投資用賃貸マンションシリーズ「LOS ARCOS（ロスアルコス）」の第 1 号物件が竣工するなど成長し続ける総合デベロッパーです。

本アワードはグループより親会社の株式会社明豊エンタープライズをはじめ、賃貸管理会社の株式会社明豊プロパティーズ、株式会社ハウスセゾンエンタープライズ、建設会社の株式会社明豊エンジニアリング、株式会社協栄組、台湾現地法人の東京明豐開發股份有限公司の社員およびゲスト約 190 名が参加し、日頃の業務で努力を重ねる社員の功績を称えることを目的として全 10 賞を設定し、表彰式を執り行いました。

＜本件に関する プレスお問い合わせ先＞
株式会社明豊エンタープライズ 広報：白井、花村、宮下　TEL：03-5434-7652　E-mail：media@meiho-est.co.jp



今回の「明豊 AWARD 2026」では、各界で活躍する 3 名の方々に、本アワードの趣旨にご賛同いただき、全 10 賞のプレゼンターを務めていただきました。

K-1 プロデューサー、劇団座長、書家、語学学校名誉校長などマルチで活躍する須藤元気さんには、明豊エンタープライズの用地仕入れにおいて年間で最も高い利益額を達成した社員に贈られる「ベストデベロッパー賞」（MVP）と、年間で最も多くの販売実績を挙げた社員に贈られる「ベストセールス賞」のプレゼンターを務めていただきました。
「ベストデベロッパー賞」は、用地仕入れ業務において、課長職を務めながらも年間 3 件の契約を達成した実績が評価された「重田 涼輔（しげた りょうすけ）」さんが受賞しました。
重田さんは受賞にあたり、「日頃から温かくご指導くださっている営業本部の皆さま、そして支えてくれている部下のみんなに心から感謝をお伝えしたいです。私は 2 年前に課長という役割を任せていただき、プレイヤーとしての業務だけでなく、マネジメントにも向き合ってきました。振り返ると、自分勝手に進めてしまった場面もありましたが、私の弱点をチームのメンバーがしっかりとカバーしてくれたおかげで、自分自身の仕事に全力で向き合うことができました。チームのみんながいてくれたからこその受賞です。本当にありがとうございました」とコメントしました。

須藤元気さんにご感想を伺うと、「受賞された皆様、本日は誠におめでとうございます。皆様が立たれている場所はリングの上ではありませんが、それぞれのビジネスや現場のフィールドにおいて、日々様々な葛藤や想いと向き合われていることと思います。そうした壁を乗り越え、毎日ベストを尽くして、これからもご活躍されることを心より期待しております。」と、受賞者の今後の活躍にエールを送りました。

＜本件に関する プレスお問い合わせ先＞
株式会社明豊エンタープライズ 広報：白井、花村、宮下　TEL：03-6699-7660　E-mail：media@meiho-est.co.jp



グラビアモデル・俳優・タレントとして幅広く活動し、「ミス・アース・ジャパン 2017」や、2024 年に「グラビア・オブ・ザ・イヤー」グランプリの受賞経験を持つ斎藤恭代さんには、本年度新卒入社の社員の中で最も早く契約を獲得した社員に贈られる「新人賞」をはじめ、明豊プロパティーズにおいて最も成長・改善を遂げた社員に贈られる「ベストインプルーブメント賞」、明豊エンジニアリングにおいて物件の品質管理・品質向上に貢献した社員に贈られる「品質管理賞」のプレゼンターを務めていただきました。

斎藤恭代さんは登壇と共に会場を見渡し、以下のようにコメントしました。
「本日は皆様の努力が称賛されるそのような素敵な式典にお呼びいただき、誠にありがとうございます。皆様の表情を見ていると本当に晴れやかで目が輝いていて、私もすごくワクワクドキドキしております。プレゼンターという素敵な役回りを担当させていただき、本当にありがとうございます。」
またシックなロングドレスで登場した斎藤さんは、「今日はやはり受賞者の皆様が主役なので、私は黒な感じで合わせてきました！」とコメント。
自身も数々の賞を受賞してきた経験を踏まえ、「やはり辞めないってことが成功への近道かなと思います。今の現代社会の若者はすぐ辞めますって言うと言われているんですけど、辞めないで本当に続けるということが夢への近道かなと思って、自分の道を信じて私も今精進しております！」と挨拶しました。

新人賞の授賞式では、ご自身の新人の頃について質問されると、「私は 20 歳の時に『ミス・アース』という世界 4 大ミスコンテストで福岡代表から日本代表になって、世界大会に 1 ヶ月間行ってきたんですけれども、本当に 1 人で行くんですね。そこで自己プロデュースの力を学んだなと思って、1 人で十二単を着たりとかして、そのような時の苦労が今、身になっているなと思います。」
最後に、年末のアワードに関連し、年末・クリスマスの予定を聞かれると、「クリスマスは毎年カレンダーを出しているんですけれども、今年もファンの方にお渡し会をさせていただくので、クリスマスはファンの方と過ごします！明豊の皆様にもたくさん見ていただけるようになれるよ

＜本件に関する プレスお問い合わせ先＞
株式会社明豊エンタープライズ 広報：白井、花村、宮下　TEL：03-6699-7660　E-mail：media@meiho-est.co.jp

うに、俳優として精進してまいりますので、ぜひ見守ってくれたら嬉しいです。」と挨拶しました。

「新人賞」は、明豊エンタープライズグループの主力事業である約 5 億円～10 億円規模の新築一棟投資用賃貸マンションシリーズ「EL FARO（エルファーロ）」の用地仕入れ業務において、入社後わずか 3 カ月で目黒区の用地契約を達成し、短期間で決済まで確実に結びつけた実績が評価された「日髙 由翔（ひだか ゆうと）」さんが受賞しました。



第 8 代 K-1 WORLD GP フェザー級王者の大久保琉唯さんには、管理部門において業務改善や生産性向上、コスト削減、組織への貢献など顕著な成果を挙げた社員に贈られる「ベストサポート賞」と、前例のない新しい取り組みへの挑戦や、担当領域・特定スキルの専門性を高めるために努力を重ねた社員に贈られる「チャレンジ賞」のプレゼンターを務めていただきました。

大久保琉唯さんにご感想を伺うと、「今日はこのような素晴らしい会に招待していただき、大変うれしく思います。私も 12 月末に試合を控えているので、今日受賞された皆様のように結果を出していきたいと思います。皆様の活躍を応援しています。」とお話しいただきました。

各分野で活躍する方々から直接賞を授与された受賞社員にとって、自身の努力と成果を改めて実感するとともに、今後のさらなる成長への意欲につながる貴重な機会となりました。

＜本件に関する プレスお問い合わせ先＞
株式会社明豊エンタープライズ 広報：白井、花村、宮下　TEL：03-6699-7660　E-mail：media@meiho-est.co.jp

『明豊 AWARD 2026』受賞式 賞一覧

	表彰	内容・選定基準
1	新人賞 （明豊エンタープライズ）	本年度新卒入社の中で最も早く契約を獲得した従業員
2	ベストデベロッパー賞 （明豊エンタープライズ）	1年間で1番多く仕入れた従業員（利益額）
3	ベストセールス賞 （明豊エンタープライズ）	1年間で1番多く販売した従業員（件数）
4	ベストインプルーブメント賞 （明豊プロパティーズ）	最も成長・改善を遂げた従業員
5	品質管理賞 （明豊エンジニアリング）	物件の品質管理・品質向上に貢献した従業員
6	ベスト現場管理賞 （協栄組）	品質管理、安全管理、原価管理、工程管理において 優れた成果を挙げた従業員
7	ベストグロース賞 （ハウスセゾンエンタープライズ）	管理物件の利益額の伸長率が最も高い従業員
8	中途新人賞 （グループ各社）	主体的な挑戦を重ね、成果と成長の両面で 優れた活躍をした中途入社の従業員
9	ベストサポート賞 （グループ各社）	管理部門において、業務改善・生産性向上・コスト削減・ 組織貢献など顕著な成果を挙げた従業員
10	チャレンジ賞 （グループ各社）	前例のない新しい取り組みに挑戦、成果につなげた従業員 担当領域や特定スキルについて深堀・勤勉に励んだ従業員

また、当日は、グループ全6社の経営陣（明豊エンタープライズ執行役員兼事業企画室長 杉本 圭司、明豊プロパティーズ代表取締役社長 竹内 智大、ハウスセゾンエンタープライズ代表取締役社長 奥山 秀昭、明豊エンジニアリング代表取締役社長 堤 憲二、協栄組取締役社長 徳満 亮輔、東京明豐開發股份有限公司董事長　内田 千博）による合同取材を実施しました。



（写真左から）堤憲二、徳満亮輔、杉本 圭司、竹内智大、奥山秀昭、内田千博

＜本件に関する プレスお問い合わせ先＞
株式会社明豊エンタープライズ 広報：白井、花村、宮下　TEL：03-6699-7660　E-mail：media@meiho-est.co.jp

Q. 資材価格・建設費高騰の足元の状況と対策、および建設業における外国人材採用の意義について教えてください。

A.（徳満）「中東情勢等の影響を含め、業界全体として懸念されたほどの極端な高騰ではないものの、防水剤や塗料などの石油系資材は実際に高騰いたしました。これに対し、事前に情報が入った段階でストック可能な材料を入手・保管して活用するなど工夫を凝らし、難局を乗り越えてまいりました。
外国人材採用については、建設業への入職者が減少しており、日本人の技術者・作業員だけでは現場環境を維持していくことが難しくなっている背景があります。コロナ禍を経て異業種から建設業に転職した日本人の方でも、定着が難しいケースが見られます。そのような中、海外の方々と接する機会を通じて、日本の高い建築・躯体技術や、細部まで気を配るものづくりの姿勢を学びたいという強い向上心を感じました。協栄組ではそうした学習意欲や熱意を評価し、現場で活躍する女性技術者 2 名に加え、新たにインドから新卒社員 2 名を採用することを決定しました。」

Q. 金利や建築費が上昇する中、投資家様の動向やマインドにどのような変化が見られますか。

A.（杉本）「金利や住宅ローン金利の上昇が顕在化していることから、足元では投資家にやや様子見の姿勢も見られます。しかし、金利上昇局面においても、インフレに伴うキャピタルゲインへの期待など、不動産投資そのものの魅力が失われたわけではありません。
当グループでは、グループ内で資材やコストをコントロールできる強みを活かし、他社と比較して競争力のある販売価格と供給体制を維持しています。
また、近年増加する水害リスクが比較的低く、地盤の強い関東ローム層が広がる城南・城西エリアに特化して事業を展開してきました。こうした商品スペックの高さと安全性を重視したエリア戦略が、投資家の安心感につながり、安定した需要を支えています。」

Q. 建築費を抑制するために、この 1 年で現場や設計施工において具体的にどのような努力・工夫を重ねてきましたか。

A.（徳満）「現場で使用する空調機や住設機器について、複数物件で共通して使用する仕様をあらかじめ事前提案し、発注ロットをまとめて確保・保管したうえで各現場へ納入する工夫を協栄組では行っています。壁紙や床材などについても、同シリーズの物件で共通の材料を提案・採用することで、材料調達の効率化を図っています。労務面では、工程を精緻に管理し、限られた協力会社に複数の現場を効率的に担当してもらうことで、現場の稼働ロスが生じない体制を整えています。」

A.（堤）「当社明豊エンジニアリングでは設計・施工一貫体制の強みを活かし、複数の現場で共通して使用できる資材を事前に確保・活用することで、コスト上昇への対応を進めてきました。また、若手社員への技術指導と品質向上を目的に、70 歳前後のシニア技術者を 4 名採用し、若手社員とペアを組ませています。長年培ってきた技術や知見を次世代へ継承する取り組みを推進しています。」

Q. プロパティマネジメントにおけるサブリース受託の状況や、外国人オーナー様・入居者様への対応、スタッフ採用の進捗はいかがでしょうか。

A.（竹内）「前期の新規受託物件のうち、約 3 分の 1 をサブリースが占めました。サブリースは利益単価が高いことから、今後も新築物件を中心に積極的な受託拡大を進めていきます。

＜本件に関する プレスお問い合わせ先＞
株式会社明豊エンタープライズ 広報：白井、花村、宮下　TEL：03-6699-7660　E-mail：media@meiho-est.co.jp

外国人オーナー様への対応については、台湾現地法人の設立以降、日本語でのコミュニケーションが難しい海外在住のオーナー様が増加しています。翻訳アプリによる対応には限界があるため、直接対話を通じて安心感を提供できる体制を整えるべく、現在１名在籍している外国人スタッフを、今後２名以上に増員していく予定です。」

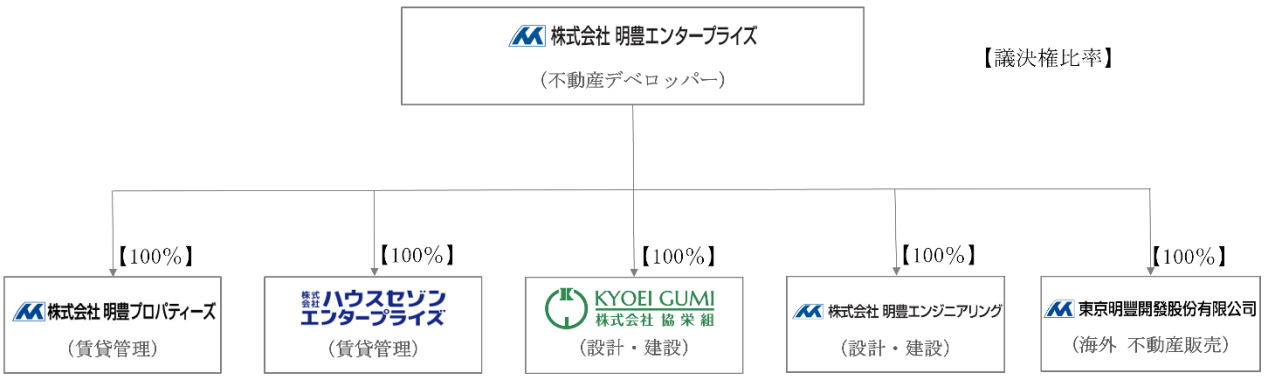
A.　（奥山）「ハウスセゾンエンタープライズより、京都・滋賀エリアでは、これまで一般管理を中心に行ってきましたが、入居率の変動に対するオーナーの不安を解消するため、サブリースへの転換を検討したいという声も増えています。そうしたニーズに応えながら、オーナーにとって最適な管理方法を提案しています。
また、学生街である京都では、入居者の約 10～12%を外国人留学生が占めています。中国をはじめ、ネパールやミャンマーなど国籍も多様化しています。オーナー様側も外国人留学生の入居を歓迎する傾向にあり、言語面での対応を工夫しながら、オーナー様・入居者様・地域をつなぐ役割を担っています。」

Q. 世界や東アジアの不動産市場と比較して、台湾の投資家は日本の市場（東京）をどのように捉えていますか。

A.　（内田）「台湾の投資家は、地政学リスクなどへの懸念から、世界各国に資産を分散する傾向があります。世界の主要都市と比較しても東京には依然として割安感があり、欧米の主要都市と比べて政治・治安・経済の安定性が高いことから、東アジアで投資先を検討する際にも、東京は有力な候補として選ばれています。
また、日本に対する親しみやすさも投資を後押しする要因の一つです。今後も東京、特に城南・城西エリアの物件の認知拡大に取り組み、台湾の投資家様に向けて魅力を発信していきます。」

■明豊エンタープライズグループについて

創業 58 年、物造りにこだわった信頼と実績の東証上場デベロッパーとして、東京 23 区を中心に 270 棟を超える“新築一棟投資用賃貸住宅”を供給している株式会社明豊エンタープライズ（東京都目黒区：代表取締役会長　矢吹　満）を親会社とし、賃貸管理会社の株式会社明豊プロパティーズ(東京都目黒区：代表取締役社長　竹内　智大)、株式会社ハウスセゾンエンタープライズ（京都府京都市：代表取締役社長 奥山 秀昭)、建設会社の株式会社明豊エンジニアリング（東京都目黒区：代表取締役社長 堤 憲二)、株式会社協栄組（東京都世田谷区：取締役社長　徳満　亮輔)、海外現地法人の東京明豐開發股份有限公司（本社 台北市中山区：董事長 内田千博）で構成されております。



■株式会社明豊エンタープライズ 会社概要

代表：代表取締役会長　矢吹　満
本社：東京都目黒区目黒 2－10－11 目黒山手プレイス 4F, 5F, 9F
設立：1968 年 9 月 9 日　事業内容：不動産開発事業　HP：https://meiho-est.com/

＜本件に関する プレスお問い合わせ先＞
株式会社明豊エンタープライズ 広報：白井、花村、宮下　TEL：03-6699-7660　E-mail：media@meiho-est.co.jp